



平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月9日

上場会社名 株式会社 ワキタ

上場取引所 東

コード番号 8125 URL <http://www.wakita.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田貞二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田俊夫

TEL 06-6449-1901

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	49,161	9.5	4,548	5.5	4,637	5.4	3,144	5.9
29年2月期第3四半期	44,911	0.7	4,814	13.4	4,901	13.8	2,970	17.7

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 3,765百万円 (12.4%) 29年2月期第3四半期 3,350百万円 (9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	60.47	
29年2月期第3四半期	57.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	120,942	90,101	74.5
29年2月期	113,654	87,896	77.3

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 90,101百万円 29年2月期 87,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		30.00	30.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,500	4.2	6,800	3.4	6,900	3.0	4,700	26.4	90.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	52,021,297 株	29年2月期	52,021,297 株
期末自己株式数	30年2月期3Q	17,477 株	29年2月期	16,854 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	52,004,111 株	29年2月期3Q	52,004,650 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年11月30日)におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に、設備投資の持ち直しや雇用環境の改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外では米国や欧州各国の政治情勢の不安定化による経済への影響や東アジア地域における地政学的リスクの高まりなどが見られ、先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループを取り巻く環境におきましては、大都市圏における再開発事業など民間設備投資で明るい兆しが見え始めましたものの、建設資材や労務費高騰の影響による公共工事の遅延など、依然経営環境は厳しい状況が続いております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、491億61百万円(前年同期比9.5%増)、営業利益は45億48百万円(前年同期比5.5%減)、経常利益は46億37百万円(前年同期比5.4%減)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は、31億44百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建機事業

建機事業の販売部門では、設備投資の持ち直しにより売上高は順調に推移いたしました。賃貸部門においてはレンタル需要が底堅く推移し売上高は増加したものの、受注競争による単価の下落や過去の設備投資に係る原価の高止まりの影響を受け、利益面では減益となりました。

その結果、建機事業全体の売上高は、338億23百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は、30億18百万円(前年同期比8.2%減)となりました。

② 商事事業

商事事業では、遊戯設備等の競争激化による売上及び利益率の低下により、減収減益となりました。

その結果、商事事業全体の売上高は、117億98百万円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益は、4億65百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

③ 不動産事業

不動産事業では、賃貸部門の売上高・利益ともに順調に推移いたしました。また、販売部門は宅地分譲の販売が業績に寄与し、当該事業全体として増収増益となりました。

その結果、不動産事業全体の売上高は、35億39百万円(前年同期比14.9%増)、セグメント利益は、10億64百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ72億87百万円増加し、1,209億42百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加35億29百万円、投資有価証券の増加11億30百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ50億83百万円増加し、308億40百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加33億48百万円などによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億4百万円増加し、901億1百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加15億84百万円などによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は74.5%、1株当たり純資産額は1,732円59銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年4月7日の決算発表時に公表いたしました数値と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,163	25,770
受取手形及び売掛金	23,934	27,464
有価証券	4,648	5,345
商品	1,337	1,743
貯蔵品	53	80
その他	450	598
貸倒引当金	△107	△159
流動資産合計	55,481	60,842
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	6,084	6,750
賃貸不動産(純額)	36,624	36,316
土地	5,856	6,104
その他(純額)	2,776	2,785
有形固定資産合計	51,342	51,955
無形固定資産		
のれん	816	1,045
その他	268	230
無形固定資産合計	1,084	1,276
投資その他の資産		
投資有価証券	4,239	5,370
退職給付に係る資産	316	329
その他	1,404	1,394
貸倒引当金	△216	△228
投資その他の資産合計	5,745	6,867
固定資産合計	58,172	60,099
資産合計	113,654	120,942
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,475	13,824
短期借入金	-	250
1年内返済予定の長期借入金	136	306
未払法人税等	384	911
賞与引当金	161	24
その他	5,461	5,382
流動負債合計	16,619	20,700
固定負債		
長期借入金	79	297
役員退職慰労引当金	328	344
債務保証損失引当金	81	81
退職給付に係る負債	76	101
その他	8,571	9,316
固定負債合計	9,137	10,140
負債合計	25,757	30,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,821	13,821
資本剰余金	16,627	16,627
利益剰余金	58,332	59,916
自己株式	△18	△19
株主資本合計	88,762	90,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,002	1,631
土地再評価差額金	△1,914	△1,914
退職給付に係る調整累計額	45	36
その他の包括利益累計額合計	△866	△245
純資産合計	87,896	90,101
負債純資産合計	113,654	120,942

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	44,911	49,161
売上原価	34,933	39,034
割賦販売未実現利益繰入額	314	287
割賦販売未実現利益戻入額	429	298
売上総利益	10,093	10,138
販売費及び一般管理費	5,279	5,589
営業利益	4,814	4,548
営業外収益		
受取利息	49	19
受取配当金	44	65
為替差益	-	5
その他	87	85
営業外収益合計	181	175
営業外費用		
支払利息	69	56
和解金	20	-
設備復旧費用	-	27
その他	4	3
営業外費用合計	93	87
経常利益	4,901	4,637
特別利益		
固定資産売却益	6	0
投資有価証券売却益	0	6
抱合せ株式消滅差益	59	-
特別利益合計	66	7
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	2	3
固定資産減損損失	-	19
役員退職慰労金	745	-
その他	6	-
特別損失合計	756	22
税金等調整前四半期純利益	4,211	4,622
法人税、住民税及び事業税	1,177	1,541
法人税等調整額	63	△63
法人税等合計	1,241	1,477
四半期純利益	2,970	3,144
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,970	3,144

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	2,970	3,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	629
土地再評価差額金	28	-
退職給付に係る調整額	△10	△8
その他の包括利益合計	380	620
四半期包括利益	3,350	3,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,350	3,765
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,644	12,185	3,081	44,911	—	44,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	148	10	—	159	△159	—
計	29,793	12,196	3,081	45,070	△159	44,911
セグメント利益	3,289	537	988	4,814	△0	4,814

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

建機事業セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に、有限会社リフテックの株式を取得し、同社及び同社子会社の八洲商会株式会社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間において8億49百万円であります。

また、有限会社リフテックは当第3四半期連結会計期間に、八洲商会株式会社を存続会社として合併したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建機事業	商事事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,823	11,798	3,539	49,161	—	49,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	169	9	—	179	△179	—
計	33,993	11,807	3,539	49,341	△179	49,161
セグメント利益	3,018	465	1,064	4,548	0	4,548

(注) 1 セグメント利益の調整額0百万円は、棚卸資産の調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。